

## 生涯学習大沼 6 月の教養講座を開催しました

- ・ 演題『一橋徳川家の近代』－徳川宗敬と幹子－
- ・ 講師 茨城県立歴史館 史料学芸部歴史資料課 主任学芸員 武子裕美 様

6月16日(金)に4年ぶりに茨城県立歴史館より講師を招き27名の入講者と聴講しました。講演は、「一橋徳川家」の成り立ちの紹介から始まり、大正9年に徳川宗敬と幹子の結婚から生涯までの二人の社会貢献、更にバイタリティーあふれた幹子の生き方に関する内容を詳しく紹介いただき、二人の生き方に聴講者も感銘を受けたことと思います。

戦後、二人は共に生きる決断をし、水戸郊外の農作には適さない「丹下原」に入植をした。宗敬は幼稚園園長、伊勢神宮大宮司その後植樹祭の開催、更に一橋徳川家の蔵書を東京国立博物館へ寄贈等を行った。

幹子は伯爵夫人から開拓農民へ、幹子はそこで建設の喜びを知り、更に茨城県開拓者同盟婦人部から茨城県には無かった婦人会館を設立。

また一橋徳川家の書画、工芸品、古文書を宗敬と共に茨城県立歴史館へ寄贈し文化財の保護にも貢献した。

生涯学習部 尾崎重美

